

平成28年度 自己評価表 [中間] (9月30日現在)

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)	改善策
					平成27年度	平成28年度		
学校教育課	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	懲戒処分件数	0件	0件	0件	なし
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの变革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導助言する。 ○ ICT活用事業、外国語指導事業を実施する。また、各事業に市町の挑戦加配を配置する。 ○ 学力向上及びICT活用に関する先進校を視察する。 	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率	小5 国(+2.1) 算(+1.6) 理(+0.9) 中2 国(▲1.4) 数(+0.5) 理(▲1.5) 英(▲1.8)	全ての教科で県平均を5ポイント以上上回る。	小5 国(+5.3) 算(+5.1) 理(+5.2) 中2 国(+6.9) 数(+3.8) 理(+0.2) 英(+5.3)	第2回「学びの变革」推進協議会を10月に開催する。引き続き、「学力向上チェックリスト」を活用する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導について研究し、その成果を普及する。 	暴力行為の1000人あたりの発生件数(中学校)	15.4件	11.5件	2.3件	「いじめ撲滅月間」の各学校の取組を自校に生かす。
		自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ ふるさと実感事業を実施する。 	意識調査「自分にはよいところがあります」の肯定的回答割合	小5:79.8% 中2:77.1%	小5:88% 中2:85%	小5:87.0% 中2:65.1%	道徳教育推進教師にアンケート調査を行い、取組について指導する。
	児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける体力・運動能力調査の分析等をもとに、学校訪問等で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において1校1競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。 	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合	75.7%	77.0%	11月公表予定	なし
生涯学習課	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層(50歳未満)利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を充実させる。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	若年層(50歳未満)利用者数割合	44.0%	50.0%	66.2%	なし
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会と共同で開催する。 ○ 関係者へ積極的に出品を依頼する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数	945人	950人	市美術展実施予定 平成28年11月3日(木・祝) ~11月6日(日)	なし
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 文化財講座などを開催する。(歴史資料館) ○ 展示企画を充実させる。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫))	8,486人 692人	8,500人 700人	4,902人(57.6%) 282人(40.2%)	学びの館及び大柿地区歴史資料館において、ふるさと歴史講座を開催する。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的取組を実施する。 ○ 読書預金通帳を配布する。 	年間貸出冊数	110,572冊	113,000冊	51,390冊(45.4%)	「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」の呼びかけ等を行う。